

各位

路線バス（乗合バス）の運賃改定申請について

遠州鉄道株式会社（本社：浜松市中区 社長：斉藤薫）は、昨日 3 月 30 日、路線バス（乗合バス）の運賃改定を、国土交通省に申請致しましたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 運賃改定申請の内容

(1) 申請理由

当社は乗合バス運賃について、平成 7 年 2 月に収支改善を目的とした運賃改定を実施以降、20 年にわたり運賃水準を変更せずバス事業を維持しております。（但し、平成 26 年 4 月には消費税率改定 [5%→8%] に伴う転嫁運賃改定を実施致しました。）

この間、全国的な少子化と景気停滞、そして浜松市の人口流出過多の傾向、マイカー利用増や郊外店の台頭による中心市街地の空洞化、等の理由により当社バス事業を取り巻く経営環境は近年更に厳しさを増しております。

このような状況に対し、当社では、事業継続の為の自助努力として、今日に至るまで合理化を続けてまいりました。旅客動向に応じたダイヤ改正、不採算路線の縮小・廃止を行うとともに、拠点の統廃合や業務改善等で間接部門人員を削減し、総人件費の削減と抑制に努めてまいりました。

その一方で、平成 9 年に全国初で指定された「オムニバスタウン構想」に基づき、ノンステップバスの比率を高め、鉄道線と共通の IC カードの導入、数回にわたる運賃値下げ等の利用促進施策を講じてきましたが、依然バス利用人員の減少が続いております。

しかし、乗合バス事業は通勤、通学、買物、通院等の市民生活において欠かせないものであり、特に高齢化、過疎化が進んでいる昨今において、バス事業の社会的意義はこれまで以上に重要になると認識しております。

このような事業経営環境下において、更なる輸送サービスの向上及び安全対策の充実に努めるとともに、地域に根ざしたバス路線網を維持させる等、公共交通機関としての使命を果たしていくためには、運賃の本格改定による収支改善が必要不可欠と判断するに至り、今回の申請に及びました。

(2) 申請概要

- ① 申請日 平成 27 年 3 月 30 日
② 運賃改定実施日 平成 27 年 10 月 1 日 (予定)
③ 現行・申請運賃比較表

【上限運賃 (※1)】

	現行 (消費税 8%)	今回申請	
		上限運賃	実施運賃
キロ当たり賃率	36.5 円	42.0 円	-
初乗運賃	100 円	130 円	120 円

◎上限運賃平均改定率 15.3%

【実施運賃案 (※2)】

キロ程	現行	改定	差
0.1~1.0	100	120	20
1.1~1.4	120	120	0
1.5	120	130	10
1.6	130	130	0
1.7	130	140	10
1.8	130	150	20
1.9~5.2	140~260	160~280	20
5.3~9.8	270~410	300~440	30
9.9~18.6	420~640	460~680	40
18.7~	650 (上限)	690	40

◎実施運賃平均値上率 9.8% (当社試算)

◎15.1km 以上の区間については、割引率をアップして増額幅を抑えております
(遠距離逓減の強化・現行 0.65→改定 0.55)。

- ※1 上限運賃：バス事業者の経営に必要な総括原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額。
※2 実施運賃：運賃の上限認可が得られた上で、上限の範囲内で実施する運賃額。実際にお客様から収受する運賃額。
申請した直後の現時点では認可前である為、「案」の状態であり、認可の内容によっては変更の場合がある。

【主要区間における実施運賃額の現行・改定運賃比較表】

停名	大人片道 (浜松駅より)			1ヶ月定期券 (学校は通学全日※)		
	現行	改定	アップ率	現行	改定	アップ率
県総合庁舎	100 円	120 円	20.0%	4,130 円	4,960 円	20.1%
市役所前	120 円	120 円	0.0%	4,960 円	4,960 円	0.0%
西遠学園	150 円	170 円	13.3%	5,550 円	6,120 円	10.3%
浜松北高	160 円	180 円	12.5%	5,920 円	6,480 円	9.5%
浜松商高	190 円	210 円	10.5%	6,670 円	7,560 円	13.3%
聖隷住吉	220 円	240 円	9.1%	8,680 円	9,650 円	11.2%
医療センター	240 円	260 円	8.3%	9,510 円	10,450 円	9.9%
イオン市野	280 円	310 円	10.7%	11,160 円	12,460 円	11.6%
イオン志都呂	360 円	390 円	8.3%	14,470 円	15,680 円	8.4%
医科大学	420 円	460 円	9.5%	16,950 円	18,490 円	9.1%
聖隷三方原	490 円	530 円	8.2%	19,850 円	21,310 円	7.4%
ワイドフリー				23,660 円	25,490 円	7.7%
シルバーワイド				5,150 円	6,000 円	16.5%

※平日定期券はこの 5/7 の金額

2. 当社乗合バスの状況

	輸送人員 (単位千人)		乗合バス事業収支
	人員 (千人)	前年比	補助金込収支 (百万円)
平成 21 年度	27,534	-	▲11
平成 22 年度	26,312	95.6%	14
平成 23 年度	25,644	97.5%	▲91
平成 24 年度	25,320	98.7%	▲77
平成 25 年度	24,899	98.3%	▲217
平成 26 年度見込	24,799 (花博除く 24,682)	99.6% (同左 99.1%)	▲186

3. これまでの経営合理化

当社では、不採算路線の縮小・廃止等、路線の合理化により収支改善を図るとともに、営業所や車庫といった拠点の統廃合、グループ会社のスーパーや旅行会社への販売業務委託による窓口の合理化、バス車内及び車外管理機器のIT化の推進により業務の効率化を行い、間接部門の人員を削減しております。また、運転者を中心に定年退職者を再雇用することで、人件費の抑制に努めております。

車両については個別整備管理により使用年数を延長させており、燃料についてもアイドリングストップ、デジタルタコグラフ活用により節減を図っております。

4. 今後の取組

当社では、引き続きノンステップバスの安定した購入を進め、利便性の向上に努めていくとともに、ドライブレコーダーの活用、衝突被害軽減ブレーキ装着車両の導入により、安全対策の強化を図ってまいります。

さらに、「オムニバスタウン」指定時に一括導入された車載機器の更新を進めてまいります。運賃表示器についてはより視認性に優れたものにし、ICカード対応運賃箱は将来的に全国共通ICカード対応の可能性を視野に入れたものにする予定であり、お客様へはより良いサービスを提供し、我々にとっては更に業務を効率化してまいります。これらの車載機器により取得された「ビッグデータ」を分析・活用することにより、お客様のご利用実態に合ったダイヤ作成や運用を追求してまいります。

また、今後も人件費・燃料費・車両購入費といった経費抑制の取組を継続するとともに、運転者をはじめとした社員の接客・案内サービスの向上に真摯に取り組み、「安全・安心・快適なバス」を提供してまいります。

「あって良かった遠鉄バス」と皆様に支持され、持続可能な事業として乗合バスを継続してまいります。

以上